2019サマープログラム

「アメリカ研修」

オレゴン州ポートランド／ワシントン州シアトル

2019年8月21日（水）～30日（金）

2019年8月、学生46名がアメリカ合衆国での海外研修に参加しました。

本学では2012年度以降、毎年継続してアメリカでのプログラムを実施しています。8回目の開催となった今年度は、オレゴン州ポートランド／ワシントン州シアトルの2か所の研修地に分かれての実施となりました。診療放射線学科（R）、看護学科（N）、臨床工学科（ME）の学生30名がポートランドで、リハビリテーション学科（PT/OT）の学生16名がシアトルで、それぞれ医療・福祉施設での見学やボランティア体験、現地大学での講義受講や大学生との交流など、8泊10日間の充実した研修日程を終え、無事帰国しました。

ここでは本プログラムの様子の一部をご紹介いたします。

事前学習・事前準備

アメリカ渡航に先駆けて、プログラムをより円滑に進めることを目的とした事前講座を実施しました。本学准教授の天野先生およびネイティブの外部講師が担当しました。

講座では、現地で円滑にコミュニケーションを取るための英語表現やジェスチャー、研修で使用する専門的な医療用語について、座学とロールプレイングを交えながら学びました。

※サマープログラム参加者は、1年生後期必修科目「医療英語」の単位認定措置の対象となります。

DAY 1　成田空港から現地へ出発

成田空港に全員集合！その後は2グループに分かれ、午後13時台の飛行機でポートランド＆シアトルに向けて出発しました。

ポートランド

ポートランド空港に到着
→ポートランド州立大学の学生寮へ

シアトル

シアトル空港に到着
→ワシントン大学の学生寮へ

DAY 2

ポートランド

ランチセンターでのボランティア体験

　地域のお年寄りへの配膳サービス等を実施するNPO団体「Meals on Wheels People」のランチセンターにて、ボランティア活動を体験しました。

　学生たちは少人数のグループに分かれ、現地スタッフからの指示に従いながら、それぞれランチセンターでの調理やお年寄り宅への食事の配達などを体験しました。
　現地のボランティアスタッフやサービスを受けるお年寄りの方々と、英語でコミュニケーションを取ることもできました。

▼昼食はスタッフの皆さんと一緒に

シアトル

メディカルセンター訪問

　シアトル近郊にあるスノーコルミー滝を見学した後、シアトル市内の総合病院「ハーバービューメディカルセンター」を訪問しました。
　麻酔科医として活躍する南立宏一郎医師より、日本とアメリカの医療制度の違いや、医療に対する考え方の違い、アメリカの医療ビジネスのしくみ等について、レクチャーをいただきました。

DAY 3

ポートランド

プロビデンス病院での研修

Providence St. Vincent病院での研修に参加しました。病院で実際に看護師として働くスタッフの方々の体験談などを聞き、アメリカでの医療職の種類の多さに驚いた学生も多かったようです。最新の設備を見学することもできました。

研修終了後、学生一人ひとりに対して病院側より修了証を授与いただきました。

シアトル

ボーイング社の工場見学

シアトル近郊にあるボーイング社のエバレット工場を見学するツアーに参加しました。

圧倒的なスケールを誇る、航空機の組み立て現場を見学した後は、シアトル市内にある航空博物館も訪問しました。

▼学生たちも
引率教員も大満足！

DAY 4

ポートランド

終日フリータイム

　学生たちは各自思い思いに、市内での自由時間を過ごしました。

　ポートランドには「NIKE」や「Colombia」などスポーツやアウトドアブランドの本社があります。消費税がかからない州でもあるため、ダウンタウンでの買い物を楽しんだ学生が多かったようです。

シアトル

バスティア大学訪問

　自然療法分野を専門とするバスティア大学を訪問しました。
　バスティア大学で教鞭をとり、現地でクリニック開業もされている高倉昌宏医師による、人体解剖学やハーブ療法に関するレクチャーを受講。さらに解剖室内での実習も経験しました。1年生にとっては初めての経験となる解剖実習。白衣に身を包み、緊張しながらも興味津々で取り組み、人体の組織について理解を深める姿が印象的でした。

DAY 5

ポートランド

セントラルオレゴン観光

　バスに乗り、セントラルオレゴンの観光ツアーへ！
　「マウント・フッド」「トリリアムレイク」「ティンバーラインロッジ」など、アメリカらしい雄大な自然や風景を目にすることができました。

◀お天気にも恵まれました！

シアトル

現地大学生との交流

　現地の大学に通う学生たちが、シアトル市内を案内してくれました。
　一緒に地下鉄に乗り、ダウンタウンの名所などを回りました。

DAY 6

ポートランド

①オレゴン健康科学大学見学

オレゴン健康科学大学（OHSU）のメディカル・ライブラリを見学しました。ライブラリに展示してある様々な資料を通じて、健康科学分野の研究の歴史などに触れることができました。

②シニアリビングセンター訪問

高齢者向け施設「Cedar Sinai Park」を訪問しました。施設内見学後、入居するお年寄りと折り紙や書道などを通じて交流を行いました。

シアトル

①日本人トレーナーによるレクチャー

大リーグのシアトル・マリナーズに帯同している日本人トレーナーより、リハビリテーションに関する具体的なレクチャーをいただきました。将来、リハビリの分野で活躍することを目指す学生たちにとっては、大変刺激的な経験となりました。

②チルドレンズ病院での研修

アメリカ国内でも屈指の規模を誇る小児総合病院「Seattle Children‘s Hospital」を訪問・見学しました。

DAY 7

ポートランド

①アクティビティ体験＆NPO訪問

　乳がんサバイバーが主体となるボートチームのメンバーとともに「ドラゴンボート」のアクティビティを体験しました。
　メンバーと共に昼食を楽しんだ後は、乳がん撲滅運動を推進するNPO団体「Susan G. Komen」のオフィスを訪問しました。

②日本人医師による講義受講

　前日に引き続きOHSUを訪れ、医師として活躍している山下大輔先生の講義を受講しました。日本とアメリカの医療の違い等について、学びを深めることができました。

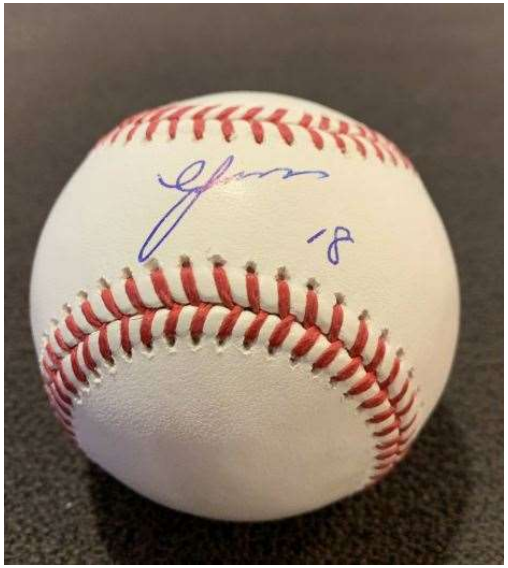
シアトル

終日フリータイム

　学生たちはダウンタウンに出かけて観光やショッピングを楽しんだり、ワシントン大学の広大なキャンパス内を散策したり、思い思いに自由時間を過ごしました。

　シアトル・マリナーズの球場で観戦を楽しむ学生もいました。（折しも、菊池雄星投手とヤンキース田中将大投手との日本人対決が実現したゲームが行われた日でもありました！）

▶菊池投手のサインボールをいただきました！



DAY 8

ポートランド

①ポートランド州立大学での シミュレーション体験

ポートランド州立大学にて、人体ロボットを用いた臨床シミュレーションなどを体験しました。

②現地大学生との交流

午後はワーナー・パシフィック大学に移動し、現地の大学生たちとの交流を行いました。温かい歓迎を受けたのち、キャンパスツアーや食事会を通じて、お互いの学生生活や研究内容等について、積極的にコミュニケーションを取ることができました

シアトル

ノースウェスト大学訪問

ワシントン州カークランドのクリスチャン系大学であるノースウェスト大学を訪問しました。看護学部の先生による案内を受けながら、キャンパスツアーやナーシングラボの見学に参加しました。

夏休みが終わり、授業期間に入っていたため、現地の大学生たちのキャンパスライフを垣間見ることもできました。

DAY 9-10　帰国の途へ

ポートランド

　お世話になったポートランド州立大学の学生寮を後にして、ポートランド空港から成田空港へ向け出発！無事帰国しました。

◀お世話になった現地のガイドさん、スタッフの方々へご挨拶

シアトル

　お世話になったワシントン大学の学生寮を後にして、シアトル空港から成田空港へ向け出発！無事帰国しました。

▼シアトル空港にて。いざ日本へ！

事後懇親会

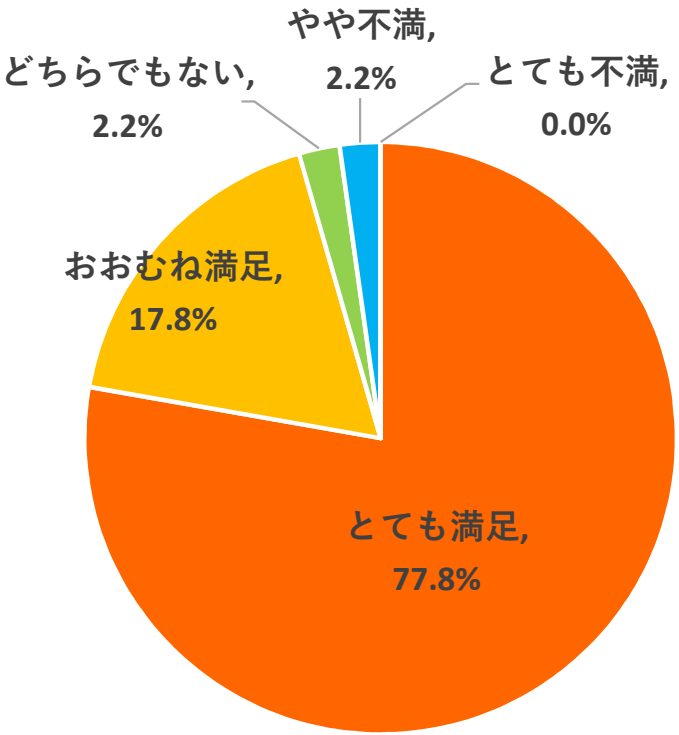
　夏休み明けの10月初旬、プログラム参加学生が約1か月ぶりに集合、引率教職員らとともに、研修を振り返りました。ふだんの大学生活においては他学科・他専攻との交流が少ないため、学生たちは久々の再会を楽しみ、思い出を共有していました。

参加学生からの声

プログラム実施後におこなった学生アンケート結果の一部をご紹介します。

【プログラムの満足度】

Q. 今年度の「サマープログラム」
全体の満足度はいかがでしたか



【学生からの感想・意見】

日本とアメリカの医療や看護の役割などの違いを学ぶことができ、とても有意義な時間だった。
（ポートランド研修参加／1年）

海外に行くことで視野がとても広がりました。改めて自分がどのような気持ちでその職業につきたいのか、どのような気持ちでこれからの大学生活を過ごして行くべきかとても考えさせられました。
（シアトル研修参加／1年）

いろいろな事情を持った人達に会うことができて自分が恵まれた環境にいることに気づかされた。
（ポートランド研修参加／1年）

自分の中の世界観が広がり、英語や海外の医療に対する関心も高まった。来年の1年生にもぜひ参加してほしい。（シアトル研修参加／1年）

シニアセンターで高齢者の方々に日本の文化を伝え、喜んでもらえて嬉しかった。自国のことも誇りに思えた。（ポートランド研修参加／1年）

学生たちにとって、今回のプログラム参加が各人の目指す医療職としての働き方を、より広い視野で考えるきっかけとなれば幸いです。日本医療科学大学では、来夏も全学年を対象として、アメリカでの研修を実施予定です。今後も医療職を目指す学生たちのための海外研修等の充実を目指していきます。